大野市と国立大学法人香川大学の連携協定の締結について

背景

〇２０１５年から共同研究を継続的に実施しており、信頼関係が構築されている。
〇大野市水循環基本計画（R3.2策定）の推進には研究・教育機関との連携が不可欠。

大野市と香川大学の連携・協力に関する協定

香川大学 KAGAWA UNIVERSITY

〈連携・協定事項〉

(1) 水環境に関する調査研究
(2) 水に関する市民の教育啓発推進
(3) その他両者の協議により定める事項

環境・水循環課
「越前おおの水のがっこう」

大野市 ONO CITY

協定締結者：大野市長　石山志保
香川大学長　筧善行

連携協定により期待される取り組み

１．水循環に関わる人材の育成と水文化の継承

（１）水循環に関する教育や啓発活動の継続的な実施
（２）幼少期から水について考え学べる機会の創出
（３）本市をフィールドにした大学や国の研究機関が行う水に関する研究の促進
（４）シンポジウム等の開催による情報発信
（５）ニーズに合った市民向け講座の企画と運営
（６）水循環の重要性についての理解と関心を深め認知度を向上させるための行事等の開催

２．災害や気候変動、地下水障害等への対応

（１）気候変動が水循環に与える影響の情報収集・把握

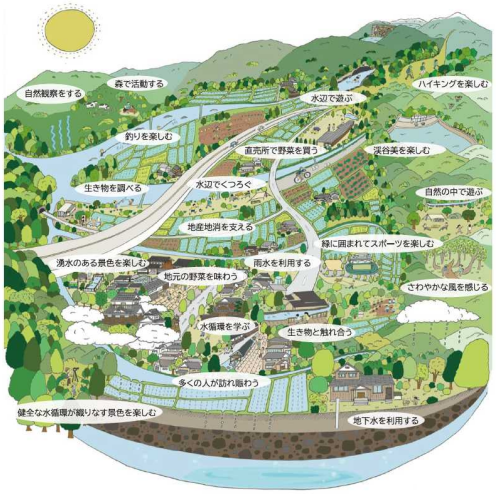
大野市水循環基本計画

《基本理念》

健全な水循環による、
住み続けたい結のまちの実現

～九頭竜川源流域の
豊かな水環境を次世代へ～

「健全な水循環のまち」イメージ図



「大野市水循環基本計画」抜粋